

120	法人の名刺に「社会福祉士」と「認定社会福祉士」と両方印刷しているため、職場内や福祉関係の人、社会福祉士会の活動に積極的な人たちには「認定」の意味をわかっていただけたことが多かった
121	認定社会福祉士としてスーパーバイザーとしてくれた
122	認定社会福祉士を目指している会員より「すごいですね」という口頭での評価のみ
123	認定を取るようになった人が増えた
124	認定を受けたことに対する、自身の努力を含む評価と支援への信頼
125	社会福祉士の知人へ認定制度について説明し関心をもってもらった
126	「頑張りましたね」「すごいね」という言葉が多かったです。資格そのものより、自己研鑽していたことに関心を持たれました。なかには「それってなにか役に立ちそうですか？役に立つなら目指したいですが、とっても変わらないなら、費用が掛かるので取らないでおきます」という趣旨の質問も何度か受けました
127	認定の仕組み
128	認定取っておられるんですね・程度の反応
129	他機関のスタッフからは、普通の社会福祉士との違いを聞かれた（関心）。所属する社会福祉士会（県）と同じ時期に認定を取った社会福祉士からは、具体的な形ではないが、評価してもらえた
130	認定社会福祉士という言葉に反応する人はとくにいなかった
131	認定を受け、なおかつ、更新したことに対して「なかなかいい」と驚かれた
132	一緒に喜んでもらった

第Ⅴ章 認定社会福祉士の 認定後の 所属組織等における 「処遇」 の変化

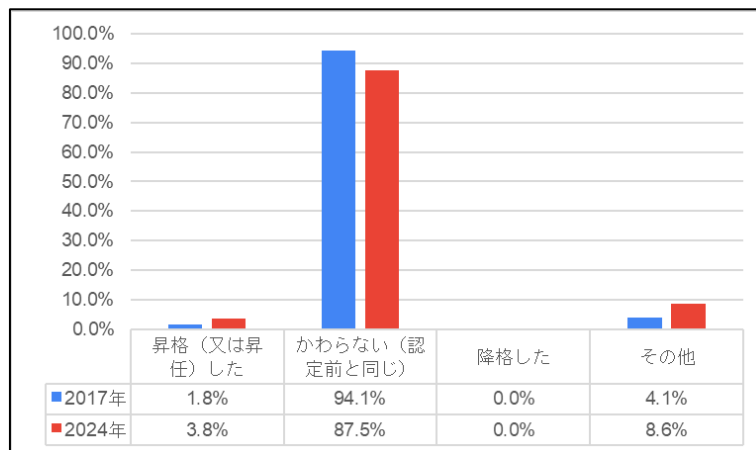
調査項目の大項目については、①の設問では、まず、所属する組織や職場で、認定を受けたことで、立場・職位はどのように変化したのかについて、②の設問では、認定を受けたことで収入が変化したかについて、③での設問では、②で収入が増えた人に対して、どのような収入が増えたのかについて尋ねました。

Ⅴ. 認定を受けた後の、所属組織等における「処遇」について

① 所属する職場等で、認定後の立場・職位の変化について

<結果>

所属する職場等で、認定後の立場・職位の変化について「かわらない（認定前と同じ）」という割合が2017年調査および2024年調査ともに高い。



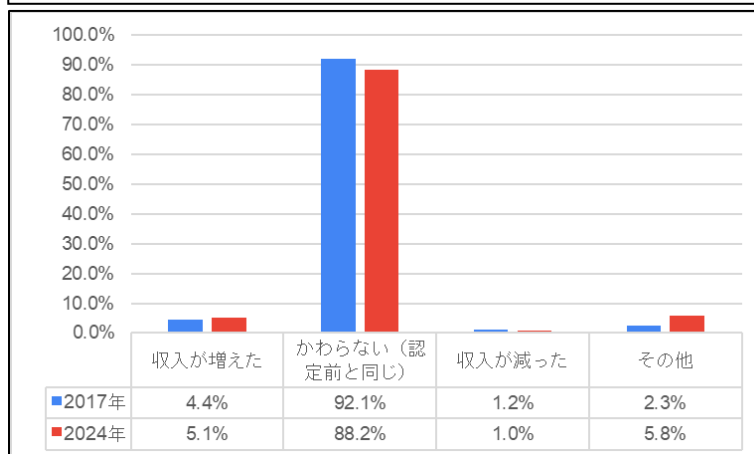
	4. その他
1	資格取得時は賞与があった
2	能力に応じた職位が与えられた ただ持病悪化で管理職は辞退
3	認定を取ったからではなく、実践力を評価されている
4	管理職にはなりましたが、認定とは関係ありません（職場では認定の話はしていません）
5	おそらく評価はされていると思われる

6	認定社会福祉士でなければ業務はなかった
7	運営のために必用な資格、という肩書きは必用とされていますが、それ以上も以下も期待されることも認められることもなく、退職しました。今は業務契約しています
8	私事都合で転職したのでなんとも言えません
9	直接要因ではないかも知れないが、別な組織から声がかかり転職した
10	認定を受けた時期と今は異なる機関、職務にあるため評価できない
11	相談部門から外れてしまった
12	自営（独立型）のため変更なし
13	自営業なので関係ない
14	独立型事務所
15	独立型なので該当しない
16	独立しているので、職場内では変わらないです
17	脱サラリーマンになった
18	雇われていない
19	個人経営なので関係はない
20	一人職場の独立型なのでとくにない
21	もともとと法人経営者であり、昇格等は自分にはない
22	職位は変わらず
23	昇級試験に落とされた
24	職場（上司）には関心を持ってもらえなかった
25	特段の変化は無い
26	かわらないが、上席からは、「精神保健福祉士、公認心理師をとってほしかった」。同僚からは、「認定社会福祉士って、なんの意味があるん？そんなんに投資してどうすんの？」と、逆に、「バカ」にされるようになった
27	なし

② 認定を受けたことで、収入は変化したか。

<結果>

2017 年調査および 2024 年調査ともに、収入が「かわらない（認定前と同じ）」と回答した割合が高い。



③ 「1. 収入が増えた」はどのような収入か。

<結果>

2024 年調査では、「基本給（報酬）」以外は収入が増えたと回答した割合が低下している。